



Depository Library

# クンドルニュース

Kyushu United Nations Depository Library

九州国連寄託図書館



## 国連砂漠化対処条約 (UNCCD)



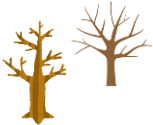
### 正式名称は

「United Nations Convention to Combat Desertification in Those Countries Experiencing Serious Drought and/or Desertification, Particularly in Africa」

(深刻な干ばつ又は砂漠化に直面する国(特にアフリカの国)において砂漠化に対処するための国際連合条約)」

本条約は、1994年6月17日、パリのユネスコ本部で120カ国の出席のもと開催された第5回砂漠化対処条約の政府間交渉委員会において採択され、1996年に発効しました。特にアフリカ諸国を中心とした開発途上国において深刻化する砂漠化問題に対し、国際社会がその解決に向けて協力することを目的としており、2022年時点で日本を含め196の国と地域およびEUが批准しています。

また、この条約が採択された6月17日は、砂漠化防止に向けての国際社会の団結を目的として、「砂漠化および干ばつと闘う国際デー」に制定されています。



**砂漠化とは** もともとは砂漠ではなかった土地が気候的要因や人為的要因で砂漠のような不毛の土地になってしまうこと

この条約において砂漠化は「乾燥地、半乾燥地、乾燥半湿潤地域における気候変動及び人間の活動を含む種々の要因に起因する土地の劣化」と定義されています。人為的要因として、過放牧や過度な農地の拡大、森林伐採などが挙げられています。人間が住み、植物が生育していた土地が荒れて不毛の大地に変化してしまうと、農業や牧畜業などの食糧の生産基盤が失われ、貧困の加速、都市への人口集中、難民の増加など、社会全体に悪影響が広がります。このように、砂漠化は環境、資源、保健衛生、安全保障、社会経済など様々な領域で多くの問題を引き起こし、その影響は世界全体に広がります。

グテーレス国連事務総長は、6月17日の「砂漠化および干ばつと闘う国際デー」に寄せたメッセージの中で、何十億もの人々の安全と繁栄と健康は、生活と生計、生態系を支えている豊かな土地にかかっているにもかかわらず、私たちは、自らを支えてくれる大地を破壊しており、実に毎秒サッカー場約4面分の健全な土地が劣化していると指摘し、政府・企業・コミュニティなどが一体となって団結し、自然と人類のために行動を加速することを呼びかけています。

### 砂漠化について 考える



(福岡市総合図書館所蔵)

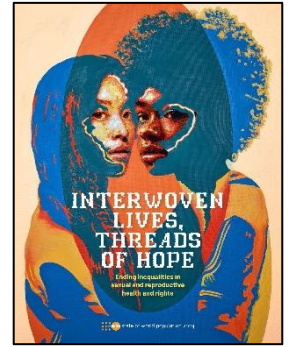
書名/著者名/出版社/出版年	資料番号	場所
乾燥地林 : 知られざる実態と砂漠化の危機 (学術選書) 102 吉川 賢/著 京都大学学術出版会 2022	1014331381	2階E12
砂漠と気候 増補2訂版 (気象ブックス) 014 篠田 雅人/著 成山堂書店 2016	1013152325	2階E7
みんなが知りたい!「地球のしくみ」と「環境問題」 : 地球で起きていることがわかる本 (まなぶっく) 北原 義昭・菅澤 紀生/監修 メイツ出版 2018	1013649502	1階子4

## ◆◇今月の注目資料◆◇

最新版『世界人口白書 2024』

New

『State of World Population 2024 — Interwoven Lives, Threads of Hope  
– Ending Inequalities in Sexual and Reproductive Health and Rights  
(世界人口白書 2024: 織りなす命、希望の糸: 性と生殖に関する健康  
と権利の不平等を終わらせるために) UNFPA(国連人口基金) 2024



★報告書全文(英語)

日本語版は、2024年9月に発表予定

<https://hdr.undp.org/content/human-development-report-2023-24>

UNFPA(国連人口基金)が毎年発行している世界人口白書。2024年4月17日に発行された最新版は、女性が自分の体に関する決定を自身で選ぶ「性と生殖に関する健康と権利(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ※)」をめぐる不平等に焦点を当てています。

### ※リプロダクティブ・ヘルス/ライツとは

今から30年前の1994年の国際人口開発会議(ICPD)において世界各国の政府は、リプロダクティブ・ヘルス/ライツが世界の開発の基盤であることに合意しました。リプロダクティブ・ヘルス/ライツは、日本では一般に「性と生殖に関する健康」と訳され、自分の体に関する決定を自身で選ぶ権利のことで、性や子どもを産むことに関わるすべてにおいて、本人の意思が尊重され、自分らしく生きられることを意味します。



7月11日は「世界人口デー」です！

報告では、これまでの30年間に世界の妊産婦死亡率の大幅な減少、避妊薬・具を使用する女性の倍増、162カ国が家庭内暴力を規制する法律を制定するなどの成果を示す一方、近年の改善のスピードの鈍化や停滞、国によっては女性が自分の体のことを自分で決められる自由が後退している、と危機感を示しています。また、アフリカの女性が妊娠や出産時の合併症で死亡する確率が、欧米諸国の女性の130倍になると推計し、人種の違いや貧困などから生じる格差を問題点として指摘しています。

2024年最新の世界人口は昨年から約7400万人の増加の81億1900万人。国別では、1位がインド、日本は12位(昨年に比べ70万人減少)。

不平等をなくし、すべての人に公正な未来を創造するためには、最も取り残されている人々の権利と選択肢の確保が必要であり、迅速な行動が求められています。

### ご存知ですか？

#### 国際デー



7月12日

砂塵嵐と闘う国際デー

International Day of  
Combating  
Sand and Dust Storms

大陸から偏西風に乗って日本に飛来した砂塵が黄砂と呼ばれます。

国連は、2023年6月の国連総会において、7月12日を「砂塵嵐と闘う国際デー」と宣言する決議(A/RES/77/294)を採択しました。

砂塵嵐(さじんあらし)とは、砂嵐ともいい、強風のため塵(ちり)や砂が空高く舞い上がり、見通しが著しく低下する現象です。砂塵嵐は砂漠などの乾燥地域に於いて発生しますが、砂塵は遠く離れた地域にも運ばれ、環境、健康、農業、私たちの生活や社会にも重大な影響を及ぼしています。砂塵嵐は、自然のサイクルの一部であるものの、持続不可能な土地管理や水利用など人為的な要因が報告されており、本号で紹介した砂漠化への対処とも密接に関連しています。



### 編集後記



今回掲載した砂漠化対処条約の採択、国際人口開発会議でのリプロダクティブ・ヘルス/ライツの提唱は、ともに1994年の出来事であり、今年が30年の節目の年。その間、成果もありながら、気候変動は気候危機となり、もはや地球沸騰化と言われます。自身の30年を振り返りながら、未来の世界情勢や地球環境を考えました。

詳細をお知りになりたい方は、ぜひ2階国際・国連カウンターにお立ち寄りください！



## 九州国連寄託図書館

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号 福岡市総合図書館 2階  
TEL 092 (852) 0628

開館時間: 10:00~20:00

10:00~19:00(日・祭日)

\*相談業務は19:00(日・祭日18:00)まで

休 み : 毎週月曜・毎月月末

(休日のおときはその翌平日)

年末年始・図書特別整理期間